



感染症発生動向調査速報

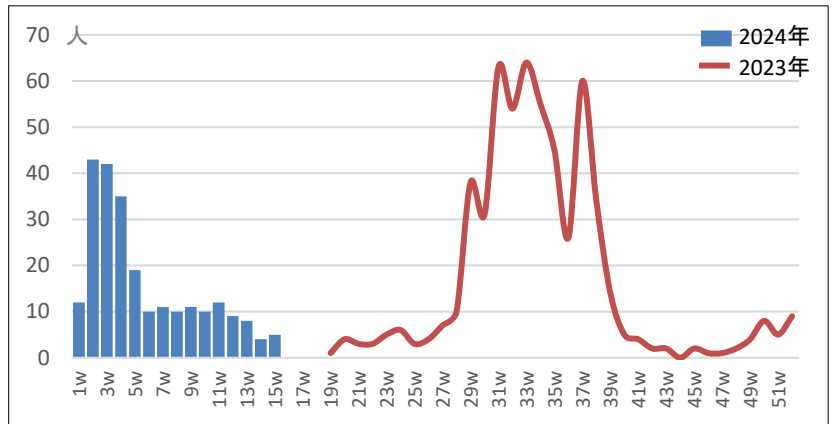
2024年 第15週 (R6.4.8 ~ R6.4.14)

【管内情報】

定点種別	疾病	注意報 開始値	警報値		報告週					
			開始	終息	10週	11週	12週	13週	14週	15週
インフルエンザ Covid19	インフルエンザ	10	30	10	2.25	3	1.5	1	0.5	0.50
	新型コロナウイルス感染症	-	-	-	2.5	3	2.25	2	1	1.25
小児科	RSウイルス感染症	-	-	-	0	0	0	0	0	0.00
	咽頭結膜熱	-	3	1	3.33	3	1	1.67	3	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	2.67	5.33	2.67	1.33	1.33	1.00
	感染性胃腸炎	-	20	12	0	0.67	0	1	0.67	0.00
	水痘	1	2	1	0	0.33	0	0	0	0.00
	手足口病	-	5	2	0	0	0	0	0	0.00
	伝染性紅斑	-	2	1	0	0	0	0	0	0.00
	突発性発しん	-	-	-	0	0	0	0	0	0.00
	ヘルパンギーナ	-	6	2	0	0	0	0	0	0.00
	流行性耳下腺炎	3	6	2	0	0	0	0	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	-	1	0.1	0	0	0	0	0	0.00
	流行性角結膜炎	-	8	4	1	3	2	2	0	1.00

新型コロナウイルス感染症（報告数）

年齢	11w	12w	13w	14w	15w
～9歳	2	1	0	0	0
10～19歳	1	1	0	0	0
20～29歳	0	1	0	0	0
30～39歳	0	1	1	1	0
40～49歳	1	1	1	0	0
50～59歳	1	0	1	0	0
60～69歳	1	2	2	1	0
70～79歳	3	0	2	1	1
80歳～	3	2	1	1	4
合計	12	9	8	4	5



【通信欄】

マダニやツツガムシの活動が活発な時期です。ご注意ください！

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。

マダニ類は、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などを媒介し、ツツガムシ類はその名のとおりつつが虫病を媒介します。

春から秋(3月から11月)にかけては、マダニ等の活動が活発になる時期ですので、野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避けて感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがありますので、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。